



実践! 田舎力

金丸弘美=著/NHK出版
819円/新書判

地域活性化の動きは各地に広がって久しいが、うまく機能していないかたり躊躇していたりする所もあるのでは。同書では、六次産業や着地型観光などをテーマに、持続可能なまちづくりについて解説。農業の人材育成に力を入れる高知県や「語り部」を育て観光事業に生かす岩手県遠野市など、36の地域の事例を挙げ分かりやすく紹介。



日本茶の「未来」

飯田辰彦=著/鉦脈社
2415円/四六判

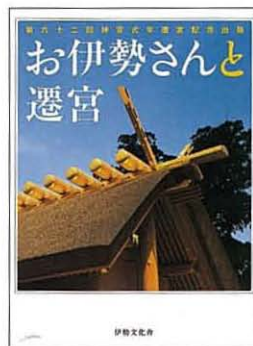
「香り」が失われつつある日本茶の行く末を案じ、現場取材した「日本茶」シリーズの第3弾。今回は静岡市や宮崎県五ヶ瀬町など全国各地の14の生産者・関係者に迫った。日本でも数少ない釜炒り茶にこだわる作り手たちや、「茶会」を開く集落など、彼らの熱意や挑戦する姿から、喫茶の原点を再確認し、日本茶復活の糸口を探る。



ちよこ旅 瀬戸内

松鳥むう=著/アスペクト
1500円/A5判

イラスト旅エッセイ「ちよこ旅」シリーズの最新刊は瀬戸内が舞台。しまなみ海道、直島諸島近辺などの23島や港町を、自転車やフェリーでめぐる。瀬戸内の風景や食べ物、著者曰く「お接待文化」な島民とのふれあいなど著者の島好きの思いが詰まっている。さらに「瀬戸内航路MAP」などデータも付いて、ガイドブックにも最適。



お伊勢さんと遷宮

伊勢文化舎=編・発行
1365円/A5変型判

今年、日本中が注目している神宮式年遷宮。本書では、「山口祭」にはじまる式年遷宮の33の祭り・行事を紹介。さらに、宮大工や職人、営林など遷宮に関わる人々の仕事など式年遷宮を多角的に深く伝える。地元出版社が8年間取材した集大成。購入は三重県・愛知県・岐阜県的主要書店や伊勢文化舎のHPなどで。